

いまこそ集落創生

第7回 漆野地区



1_毎年芋煮会にはたくさんの方が参加し、秋を感じながら大いに賑わう 2_伊夜比古神社の例祭日に参拝された方々。今般出版された関連文献にも掲載されている 3_春木の湧き水には蛇口が整備。地区の皆さんの喉と心も潤す

山に川、水田に畑と自然の恵みが豊かな漆野地区。町中心部から北西部に車で約10分の山あいに位置しています。地区は漆野と春木の2集落で構成。およそ20世帯60名ほどがこの地で生活しています。

漆野地区の魅力は、何ととっても春夏秋冬それぞれに行事があり、今も継続しているということ。春は花見、夏は蛍観賞、秋は芋煮、冬はお歳灯と、四季を感じながら地区の皆さんが集まる機会となっています。協力して地区を運営していく体制が整っていることも長く継続できる理由のひとつ。例えば夏の蛍を見る会は地区のお母さん方が作ったおにぎりや漬物をいただき、秋の芋煮会では男性が料理を担当することが決まっています。

また、地区にある「伊夜比古神社」には興味深い歴史があるようです。同じ名前の神社が全国に存在し、それについて調査がなされた本も出版されているほど。もちろん漆野の神社についても写真付きで掲載され、歴史や他の神社との繋がりについて触れられています。湧き水も地区にとって大切な恩恵です。春木には絶えることのない湧き水が蛇口からあふれ出しており、その水は春木にある10世帯に供給されています。地区外から水を汲みに来る人もおり、当時苦労して家にひいたその湧き水は「地区の宝だ」と区長の三浦次男さんは語ります。

未婚率が高く、子どもも減ってきて寂しい現状はありますが、こうした行事や資源を守り繋いでいくことで、地区に住む人同士がこれからも楽しく笑って過ごせる地域であり続けたいと話していました。

編集 幸記

▼町を襲った集中豪雨。本号で紹介している以上に町内各地で災害された町内の皆様に心からお見舞いを申し上げます。何十年に一度の災害が毎年のように全国各地で起きている。今、当町も例外でないということは今回で分かったはず。この経験は防災意識の向上につながると思います。

▼季節はいつの間にか秋。私はキンモクセイの香りが漂い始めると秋だなあと感じます。皆さんはどんなことに秋を感じますか？ (つま)

金山町の人口は、5,562人 (8月末現在)

	男性	2,698人 (-1)	▼8月の異動
	女性	2,864人 (-13)	出生 0人
	世帯数	1,762世帯	死亡 3人
			転入 6人
			転出 17人